（様式－1）

災　害　速　報

北陸　支部

発生日時	令和 3年　8月11日（水曜日）16時10分頃						天候	曇り		
災害の程度	死亡　名		負傷　1名		職種　基礎作業員		年令　24才		経験年数 1年5ヵ月	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下		崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他	
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　　名］　杭基礎準備工事中、ワイヤの端末が顔面に当たり受傷

［作業内容］　杭基礎準備工事

［発生状況］

・被災者（作業員）は8時30分より、班長、施工管理員、作業員4名の計7名で№○号鉄塔に使用する分解型杭掘削機の機材搬入および組立作業に従事していた。
（現場責任者は現場事務所で書類整理をしていた）

・16時10分頃、分解型杭掘削機のメインウインチにワイヤ（直径：26㎜）を巻き付けるため、ワイヤをU字に折り曲げて、端末を「端末止め」に固定して楔と一緒に押し込もうとしたとき、ワイヤの反発力が強く、「端末止め」から外れて跳ね上がり、顔面に当たって受傷した。

・直ちに○○病院に搬送し診察を受け、絆創膏やガーゼで処置を受けた。なお、CT検査の結果、脳に異常はなかったが、右頬骨に骨折の疑いがあるため、翌日に再受診した結果、右上顎骨骨折・右眼窩下神経損傷で約1ヵ月の自宅安静加療が必要と診断された。

［経　　緯］

8月11日（水）

8：20	・現地にてTBM-KY実施
8：30	・作業開始（資材搬入、荷下ろし）
10：00	・杭掘削機組立開始
16：10	・災害発生（直ちに作業班長から現場責任者に報告あり）
16：14	・現場責任者が現地に到着
16：25	・被災者を作業員Bおよび施工管理員が○○病院へ搬送
17：15	・被災者が○○病院に到着
17：10	・診察終了（CT検査の結果、脳に異常なし） （形成外科担当医不在のため、絆創膏処置を受け薬を処方された）
18：00	・被災者は作業員Bの運転する車で帰宅

8月12日（木）

9：00	・再受診の結果、右上顎骨骨折・右眼窩下神経損傷と診断 （約1ヵ月の自宅安静加療）

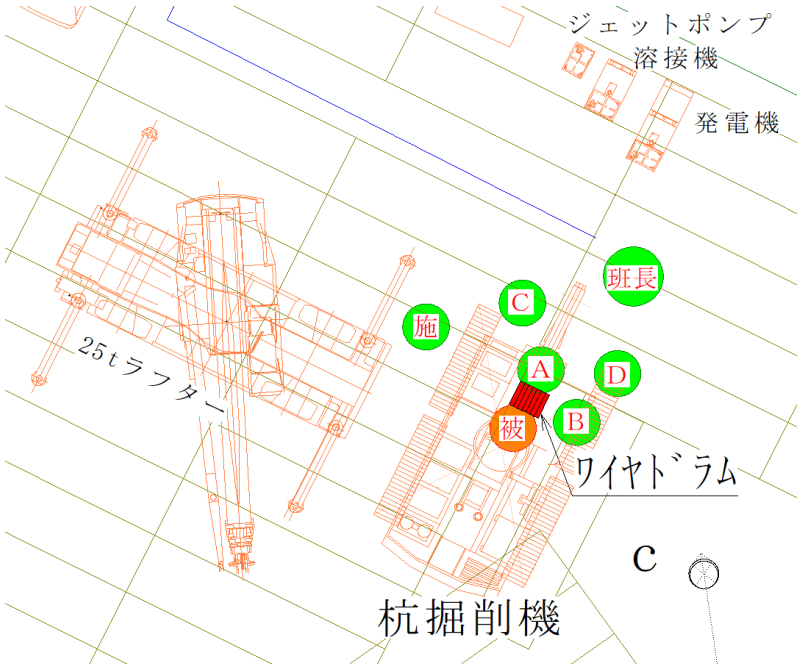
［被災の程度］

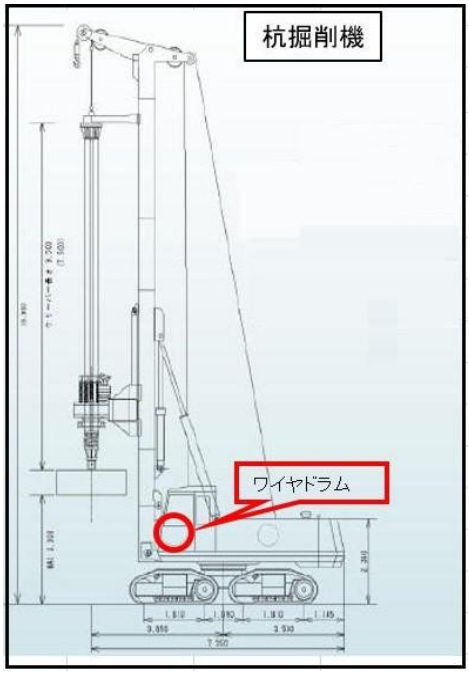
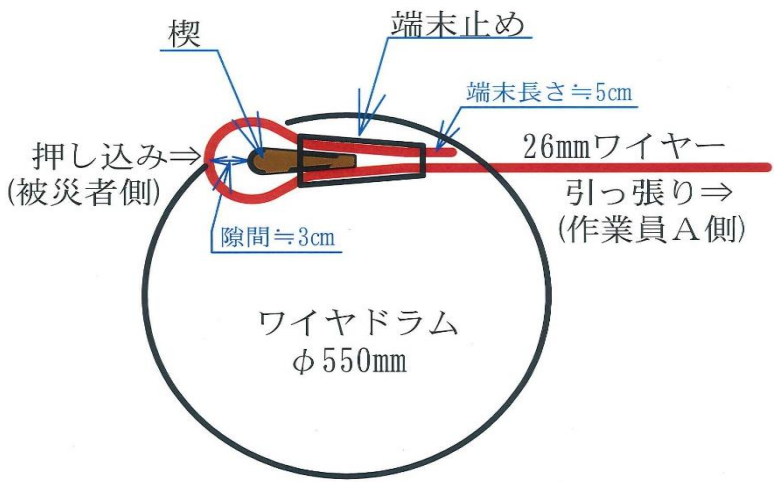
右上顎骨骨折・右眼窩下神経損傷（休業見込日数：約1ヵ月）

［被災者の服装］

作業服、編上安全靴、革手袋、安全帽、安全帯

災　害　概　要　図





ワイヤ端末止めイメージ図